

世田谷区議会議員 神尾りさ通信

SETAGAYA CONNECT

世界とつながる世田谷へ

REPORT：議会報告

「令和6年 第2回区議会定例会報告」

ACTION：活動報告

「東京若手議員の会の代表になりました」

「日本初のデジタル庁認定 Well-being
ファシリテーターになりました！」

INFORMATION：お知らせ

「新・才能の芽を育てる体験学習」



せたがや防災ギフト
3000ポイント配付中！



2024. Vol. 3

City of Setagayaとしての 覚悟について

東京都23区は、通常であればWardと英訳しますが、殆どの区でCityという英語表記を使用しています。

そこには、自治権拡充を目指す覚悟が含まれています。つまり、市にはあるが、区にはない権限を東京都から移管してもらえよう、求め続けているのです。

2020年に、児童相談所の権限が東京都から世田谷区に移管されました。世田谷の子どもを地域で責任もって見守る体制が作られつつあります。次の権限として、教職員人事権に目標を定めることを求めました。現状では、世田谷区の学校の先生が他の自治体に異動してしまい、それまでの間に培った、子どもや地域とのつながりが続かなくなってしまう。区立小中学校の教職員の数名でも、世田谷区で採用できるように働きかけしており、少しずつ実現に近づいています。



「認知症世界の歩き方」に基づく地域づくりについて



国の推計では、2040年には、高齢者の約15%、6・7人に1人が認知症になると見込まれています。当区では、国に先駆けて2020年に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を施行し、計画を策定しました。昨年、認知症世界の歩き方のワークショップに参加しました。認知症の方が生きる世界について、体験を交え、関係を深める対話や、生活を改善するデザインについて学ぶ場です。例えば、財布がなくなったと思っている認知症のAさんの認知機能のトラブルについてチームで考え、貴重品に検索可能なタグをつけたり、保管場所を話しあったりして、本人が疑心暗鬼になったり、周りがAさんからお金をとりあげるなどの尊厳を損なう行為を防ぐことを学びます。また、五感や身体への負担を減らし、意味や情報が伝わりやすくするなど、認知症にやさしいデザインについて知ることで、生活環境の改善にもつながられます。

誰にとっても認知症を自分事にすることや、できないと決めつけず、本当はたくさんのチカラがあることに気付けるようにする社会を目指したいです。より多くの方が認知症への価値観を転換できるような機会の提供と、地域で主体的に活動ができる方を支える仕組みづくりについて質問しました。



令和6年
第2回定例会
6月12日(水)
本会議 一般質問



映像
視聴

子育て中の親を全力で支え 応援する政策について



今の子育て世代は、「しつけ」という言葉に代表される、親から子への一方的な子育てを経験した方が多くいます。

現在、区が行っている「世田谷区子ども条例」の改訂に向けて、子どもの意見を尊重する社会の構築を目指すとともに、親であることそのものを支え、応援する仕組みづくりについて伺いました。



子どもの周りの大人に子どもの権利について伝えるとともに、保護者にも地域で子育てを支えられ、支援を受ける権利があることを知ってもらい取り組みを進めていかれるよう、応援します。

せたがや防災ギフト
3000ポイント配布
詳しくは、QRを読み込み
専用公式サイトをご確認ください。



<申込期限>
2024年
11月30日



東京若手議員の会代表に選出！



東京若手議員の会は、東京都内で39歳以下で初当選し、45歳未満の超党派の議員で構成される学びの会です。これまで政策の勉強や視察などを通して、たくさんの刺激をもらい、学ばせていただきました。今回、2024年9月からの新年度で、東京ブロック代表を務めさせていただくことになりました。100人を超える20～40代の若手議員が所属する当会では、各地域で開催する研修や、児童虐待防止PTなどのグループが活発に活動しています。それらを取りまとめる立場として、有益な学びの機会をつくり、子育て中や、介護中の議員であっても参加できる工夫を行いたいと思っています。表に出ている政治の世界のイメージはあまり良くないものかもしれませんが、政治家も一人一人の暮らしがあり、悩みや希望をもつ人間です。横のつながりをつくることで、お互いに支え合いながらより良い社会づくりを目指したいです。

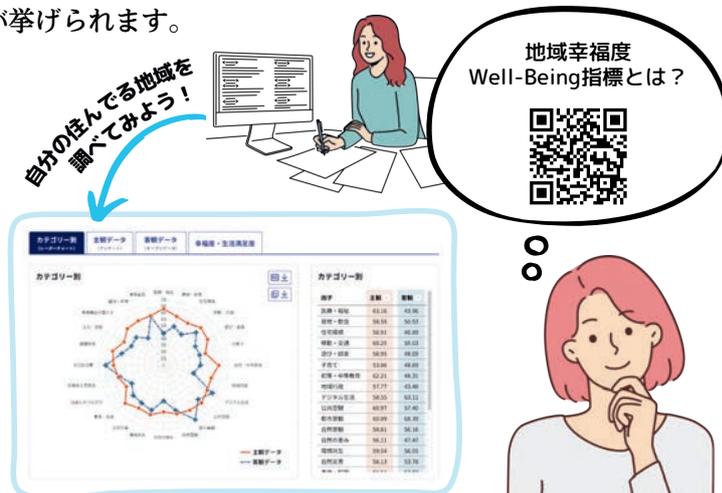
東京若手議員の会
公式HP
<https://www.wakashigi.tokyo/>
日本初のデジタル庁認定 Well-being
ファシリテーターになりました！

世界幸福度ランキングで日本は51位、OECDでは41カ国中30位。日本の順位が低い理由には、人生の選択自由度が低いこと、他者への寛容性、政府への信頼、ジェンダーなどが挙げられます。

デジタル庁で取り入れている「地域幸福度指標」(ウェルビーイング指標)は、日本ならではのウェルビーイングの因子について学び、各自治体ならではの強みや特徴を見出していくことで、幸福度や生活満足度を上げていく取り組みです。今回、デジタル庁主催の2日間の研修を経て、60名のデジタル庁認定Well-beingファシリテーターが生まれました。これから全国各地でウェルビーイングの伝達が始まります。その街の幸せがどんな因子から構成されているのか、また数年後のわが街は、どういった街であることが望ましいのか、ということを考える人が増えていけば、その街の個性が見出され、幸せな循環が始まって、日本が元気になっていくのではないかと思います。その一旦を担えるように頑張ります。

日本は経済的な豊かさが一定の段階を超え、心の安寧やウェルビーイングを意識して求めることが必要とされる時代になりました。

自分の住んでる地域を
調べてみよう！



INFORMATION お知らせ

世田谷区では、区内の幼児、小、中学生を対象とした体験学習プログラムを提供しています。昨年のプログラムで、世田谷の子どもたちにフェンシングの楽しさを教えてくださった、東晟良(あずませら)選手のいるフェンシング女子フルーレ団体が、パリ五輪で銅メダルを獲得し、区長を表敬訪問されました。フェンシングの女子で初めての快挙だそうです。昨年の体験学習で直接フェンシング体験をした子どもたちにとっては、夢のような出来事だったのではないかと思います。



新・才能の芽を育てる体験学習

今年の秋にも、スマートフェンシングの体験講座が開催される予定です。各講座実施の約1か月前に、区立幼稚園・保育園、小・中学校や区のホームページを通じて募集チラシを配信・配布します。各講座の詳細は、募集チラシをご確認ください。



探求

国際理解

環境

表現

体力健康

体験申込みはこちら！

世田谷区民会館 オープニングイベント

新しく完成した世田谷区民会館の開館を記念して、歌舞伎や交響楽団などの文化事業が開催されます。

令和6年10月12日(土曜日)	せたがやMusicフェス
令和6年11月2日(土曜日)	「せたがや音楽研究所」特別編 宮川彬良まつり
令和7年1月26日(日曜日)	〈Discovery Setagaya Sounds〉 Setagaya Super Band
令和7年3月15日(土曜日)	東京フィルハーモニー交響楽団 開館記念特別演奏会
令和7年3月16日(日曜日)	せたがやジュニアオーケストラ 特別演奏会

詳細はこちらをご確認ください。

神尾りさのオススメ情報！

インド紅茶専門店ブランド 「ピュア・ティップス」

松陰神社前駅のすぐそばにあるインド紅茶専門ブランド「Pure Tips」は、インド各地域の選び抜いた上質な紅茶を紹介するブランドです。店内には、インド紅茶界の重鎮であるヴィクラム・ミッタル氏とともに厳選された極上の紅茶が並びます。一見実験室のような店構えですが、一步店内に足を踏み入れると、お店を立ち上げた、七戸(しちのへ)ご夫妻の温かい笑顔と楽しいお話で、より深く紅茶の魅力を感じることができます。大切な方へのプレゼントにも最適。ぜひ一度お立ち寄りください。

公式HP <https://puretips.shop>

営業時間：11:00～19:00
定休日：月曜日 & 木曜日
東急世田谷線「松陰神社前」徒歩1分
住所：東京都世田谷区若林4-25-5 モデリアデイズ松陰神社-E

世田谷区議会議員 神尾りさ

東京都世田谷区生まれ。聖心女子大学英文科を卒業後、渡米。米国メリーランド州小学校日本語教師、ワシントンDC日米協会・教育プログラムディレクター等を務める。2016年に帰国後、一般社団法人日本国際教育協会を設立、専務理事。2019年に世田谷区議会議員初当選、現在2期目、無所属「国際都市せたがや」。世田谷区立小学校PTA会長。家族は夫と息子。

お友達募集中 LINE公式アカウント

神尾りさ

神尾りさ @risakamio

神尾りさ <https://www.facebook.com/kamiorisa>

神尾りさ 世田谷区議会議員(無所属) @RisaKamio

世田谷区議会議員 神尾りさ HP / メールアドレス <http://kamiorisa.tokyo> / global@kamiorisa.org

各種SNSのフォロー 宜しくお願いいたします！

